

平成29年度 九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された新技術のうち、九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術（全ての活用型を含む）

●平成29年度に活用された「九州の技術」は以下のとおりです。

九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された新技術のうち、
九州地方整備局管内の活用件数の多い新技術（平成29年度）

旧実施要領での
技術の位置付け

順位	NETIS登録番号	技術名	副題	工種	有用な技術※1 (平成30年3月末現在)
1	QS-110023-VE	移動式ネットワークカメラ「モニタリングミックス」	簡単に移動ができるネットワークカメラ、遠隔操作で広範囲をリアルタイムの動画で見れるシステム	電気通信設備	活用促進技術
2	QS-080024-VE	星型プラスチックスペーサ	コンクリートのひび割れ誘発を抑制し、ジャンカ発生の原因とならないプラスチックスペーサ	建築	
3	QS-090037-VE	カクイオイルキヤッチャー	天然繊維主体の高性能油吸着材	河川維持	
3	QS-110005-V	横帯ブロック	横帯工用埋設型枠ブロック	河川海岸	活用促進技術(旧) 推奨技術
3	QS-120019-VE	ブッシュショッパー&アースシェーバー	雑草雑木の粉砕及び回収装置	河川維持	活用促進技術
6	QS-110002-VE	アジャストーン	碎石場の副産物を規格化するとともに、コンクリート塊の再利用を促進した材料である	共通工	
7	QS-090004-VE	WILL工法(スラリー撓動攪拌工)	中層混合処理工法	共通工	設計比較対象技術
7	QS-110027-VE	プロテックPコン	塩害・腐食性環境におけるコンクリート構造物の型枠組立締結具(海岸、河川、水中、地下構造物等)	コンクリート工	活用促進技術
9	QS-030004-VG	リペ-ジショント工法	路床・路盤工にFe石灰系処理材を用いた長寿命化舗装	舗装工	
9	QS-100022-VE	GIコラム工法	軟弱地盤処理工法(スラリー攪拌工)	共通工	活用促進技術
9	QS-130010-A	ハンドガイド式草刈機ブッシュカッタージョージ	操縦者の安全性を向上させたハンドガイド式草刈機	河川維持	
9	QS-130020-VE	マンガ安全建設看板	ストーリー漫画標識ユニット	仮設工	
9	QS-140003-A	自走式仮設水洗トイレカー	排泄物を積んだまま公道走行可能な自走式仮設水洗トイレ車両	仮設工	
14	QS-090025-VE	国産環境型レンガ	【火山灰及び淨水廐を利用した保水透水舗装レンガ】	舗装工	
14	QS-120002-A	ECO-SAM(エコサム)	事故削減と燃費向上に寄与するGPSを利用したローコストソリューション	ITS関連技術	
14	QS-140005-A	小口止用サイドブロック	小口止用ブロックの積み上げによる安全性、施工性の向上	河川海岸	
17	QS-100020-VE	防音タイプ油圧ブレーカ	TNB静音ブレーカ(USシリーズ)による静音化建設工事の実現	共通工	
17	QS-150001-A	NCショット	高炉水碎スラグを独自の球形化技術により加工し、ポリマーセメントモルタルの細骨材として利用	道路維持修繕工	
17	QS-150028-A	PO横帯エブロック「横づな」	省力化・省人化・効率施工 ブレキヤスト横帯エブロック	河川海岸	
17	QS-150035-A	雑草アタッカS土系舗装材	竹短維補強材入り環境型土系舗装材	舗装工	
21	QS-050019-VG	サイクルハンマー工法(ロータリーテーブル式)	超高周波型エアーサイクルピットによるロータリーテーブル式大口径掘削	基礎工	
21	QS-150009-A	MaxBox+(マックスボックス プラス)工法	PC鋼材の緊張力により接合する「PC圧着工法」を採用した多分割式プレキャストボックスカルバートで多連式カルバートにも適用できる工法	共通工	
21	QS-150021-VE	自然災害防災システム ZEROSAI	建設現場に設置した気象測器から観測データをリアルタイムに収集し高精度な気象予測を行い、それを迅速かつ確実に伝達するシステム	調査試験	
24	QS-070021-VG	レインスルーパー	透水性アスファルト舗装用埋設蓋	共通工	
24	QS-120011-VE	生コン温度抑制対策『ファームバリア』プラス(旧技術名 生コン車温度抑制対策『ファームバリア』プラス)	生コンクリートの温度上昇抑制による暑中コンクリートの品質低下防止策	コンクリート工	
24	QS-130013-VR	草刈機安全補助用具「草刈達人かるべえ」	草刈機の刃を覆う事で、刈り刃をガードし安全に作業が出来ます。	道路維持修繕工	
24	QS-150004-A	作業者接近検知システム	検知機を搭載した建設機械と、ICタグを装着した作業者の双方に接近(危険)を警告するシステム。	その他	
24	QS-160054-A	長崎差しドゲ無し玉掛けワイヤ	玉掛けワイヤのアイ加工に際し、鋭利な端末ドゲを表面に出さない籠差し・被せ編みすることで、その危険性を軽減し、玉掛け作業効率を向上させた。	仮設工	
24	QS-170005-A	クマンツメ	橋面舗装2次切削ソース	道路維持修繕工	
24	QS-170013-A	タスクルN中和漏水処理装置	タスクルNph処理剤、凝集沈降剤をオリジナル搅拌機で瞬時に反応させる事により安価で小型の中和漏水処理装置	仮設工	
24	QS-170014-A	スイングプラケット工法	法面作業の安全性と施工性の向上が図れる親綱支持装置(ロープマスター)を用いた工法	共通工	
32	QS-980144-VG	KCライン側溝	街路型落蓋側溝、街路型自由勾配側溝	共通工	
32	QS-030044-VG	スチール透水蓋工法	排水性舗装におけるスチール透水蓋を用いた側溝改造工法	道路維持修繕工	
32	QS-030051-VG	Gr-L型擁壁	車両用防護柵基礎一体型プレキャストL型擁壁	共通工	
32	QS-050011-VG	グラベル工法	団粒効果による法面侵食防止および植生促進	共通工	
32	QS-070009-VG	ケスター	「多自然川づくり」に最適な覆土工法用ブロック	河川海岸	
32	QS-090001-VE	DCラム工法	機械攪拌式スラリー工法	共通工	
32	QS-090030-VE	モルタル吹付工法	モルタル吹付層の水抜き穴周辺のひび割れ抑制及び水抜きパイプ固定用鉄筋	共通工	
32	QS-100005-VE	コンクリート混和材(CFA)改質フライアッシュ	石炭火力発電設備排出のフライアッシュを活用したコンクリート混和材料	コンクリート工	
32	QS-100014-VE	交通整理灯G&R G&Rロング	発光色の変更により安全な誘導が可能な合図灯	付属施設	
32	QS-110040-VE	スマートセンサ型枠システム	コンクリートの強度発現を推定できるシステム	コンクリート工	
32	QS-110041-VE	KCスタンドフォーム	高性能FRC製設型枠	コンクリート工	
32	QS-120012-A	無線による建設機械等の安全停止装置	無線により遠隔から建設機械等の安全停止が可能な装置	機械設備	
32	QS-120014-A	ビッグスケール	大型積みブロック擁壁であり、I型の波形形状となっているので隣り合うブロックを前後に重ねながら施工を行う。	共通工	
32	QS-130026-A	噴流式pH処理装置	炭酸ガスを使用したアルカリ性排水の自動制御中和装置	仮設工	
32	QS-130037-A	ビット側溝	蓋版の種類を自由に変えることができ、底版調整コンクリートの施工が容易な自由勾配側溝	共通工	
32	QS-140013-A	湿式ポリマーセメントモルタルの品質管理試験器『やわらか管理クン』	ポリマーセメントモルタルの品質を現場で簡易かつ短時間に測定	コンクリート工	
32	QS-150016-A	フリードリッパーア工法	鉄製品対応の孔開け機	道路維持修繕工	
32	QS-150040-A	排水型歩道境界ブロック	歩行者や自転車の快適な通行が実現	共通工	
32	QS-160017-A	AKフレーム工法	高耐久簡易吹付法枠工	共通工	
32	QS-160031-A	無線遠隔操縦等の小型船舶による高精度深浅測量システム	動描センサー搭載によるリアルタイム補正	調査試験	
32	QS-160040-A	貼ってはがせるクラックスケール「Hurry(ハリー)」	構造物などの亀裂や隙間などに直接貼ってはがせるクラックスケール	調査試験	
32	QS-160043-A	エレクトロリムーバー	電磁波誘導加熱による有害物質を含んだ塗膜除去補助工法	道路維持修繕工	
32	QS-170008-A	保安用品等に用いるプリズム反射蓄光シート「アルファ・プリズム」	保安用品等に用いる反射機能と蓄光機能を併せ持ったプリズム反射蓄光シート	仮設工	

※1 有用な新技術とは

- 推奨技術:**公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された画期的な新技術
- 準推奨技術:**公共工事等に関する技術の水準を一層高めるために選定された画期的な新技術で、推奨技術と位置づけるためには更なる発展を期待する部分がある新技術
- 設計比較対象技術:**技術の優位性が高く安定性が確認されている新技術
- 活用促進技術:**特定の性能又は機能が著しく優れている、または特定の地域のみで普及しており、全国に普及することが有益と判断される新技術
- 少実績優良技術:**技術の優位性が高いとの評価は得られているものの直轄工事等における実績が少なく技術の安定性が確認されていない新技術

注)NETIS登録番号の末尾が「-AG」と「-VG」の技術はNETIS掲載期間終了技術

◆九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された
新技術のうち、九州地方整備局管内で活用のあった新技术◆
(全ての活用型を含む)

NETIS掲載期間終了技術

**① 移動式ネットワークカメラ
「モニタリングミックス」**
QS-110023-VE [活用促進]

本技術は、遠隔地の動画をリアルタイムにインターネットへ無線で配信でき、パソコンや携帯電話で確認できる。また、各種センサーと連動可能で、見るだけの監視ではなく遠隔操作を含めた幅広い監視が可能となる。

パソコンでモニタリング

② 星型プラスチックスペーサ
QS-080024-VE

鉄筋嵌合部とそれから放射状に伸びた2~6本の足部からなる形状のプラスチックスペーサであり、コンクリートのジャンカ発生の原因とならず、又、コンクリートとの熱膨張率の差で誘発されるコンクリート表面のひび割れは既存ドーナツの1/2以下に大幅に軽減される。

③ カクイオイルキャッチャー
QS-090037-VE

植物系セルロース中空繊維主体の天然系油吸着材である。栽培された綿を使用しているため自然破壊がない。また水をほとんど吸わず油だけ吸う。自重の30倍以上の吸着力を有し、水に沈まない。

写真1 海上汎油の吸着
カクイオイルキャッチャーの種類
写真2 海上汎油の吸着

③ 横帯ブロック
QS-110005-V [活用促進(旧)]

河川護岸において、延長方向の一定区間に毎に横帯工を設け、護岸の変位や破損が他の波及しないよう絶縁するためのコンクリート二次製品。

③ ブッシュチョッパー & アースシェーバー
QS-120019-VE [推奨技術]

道路、法面、河川敷の竹やぶ、雑草や雜木(Φ10cmまで)を、0.45m³級のパックホウにブッシュチョッパーを装着し、1cm~20cmに粉碎する。搬出が必要な場合は、アースシェーバー(集積ボックス)を装着することで、直接ダンプに積み込みができる。

⑥ アジャストーン
QS-110002-VE

本技術は、碎石場の岩ズリ等を破碎、調整(フリイ選別・コンクリートガラを配合調整)した製品である。安定した品質そして建設副産物の再利用や地域環境への影響抑制を目的とした製品である。

破碎前コンクリート塊
山砂(シラス)採取場
余剰リサイクル材及び山砂(シラス)採取場

**⑦ WILL工法
(スラリー懸垂攪拌工)**
QS-090004-VE [活用促進]

2タイプのリボンスクリュー型攪拌翼とブームランプレートとを使い分けることにより、軟弱な粘性土地盤はもとより、N値40までの砂質土地盤に固化材を注入しながら懸垂攪拌混合し、安定した改良体を形成する工法である。

⑦ プロテックPコン
QS-110027-VE [活用促進]

本製品は、セラミックス製の丸セバレーータ用型枠結体である。従来のプラスチックコーンの穴跡埋めモルタルでの防錯対策を、セラミックススリーフの孔にエラストマー製埋込み栓を押し込み密閉することにより、止水性を高め、漏水・塩害・抜け落ちの不安を解決した。

⑨ リベースジョイント工法
QS-030004

本技術は、構築路床としてFe石灰処理土、上層路盤(下部)に粒調Fe処理材、上層路盤(上部)に瀝青安定処理や大粒径アスコンまたは碎石等を舗設し、舗装の長寿寿命化・道路交通振動の低減を図る工法である。